

梅小路社宅跡地開発と 新ホテル業態開発に向けた合併会社の設立について

西日本旅客鉄道株式会社
JR西日本不動産開発株式会社
株式会社ジェイアール西日本ホテル開発
株式会社ホロニック
株式会社JR西日本ホロニック

JR西日本グループでは、このたび、観光など国内外からの観光や個人レジャーのお客様を主体とするホテルを梅小路社宅跡地に開発することになりましたので、以下によりお知らせいたします。

今回のホテルは、当社グループ直営の新業態・ブランドとして開発し、運営会社として、西日本旅客鉄道株式会社（大阪市北区 代表取締役社長 来島 達夫、以下「JR西日本」）、株式会社ジェイアール西日本ホテル開発（京都市下京区 代表取締役社長 中村 仁、以下「JRWホテル開発」）、及び株式会社ホロニック（神戸市東灘区 代表取締役社長 長田 一郎、以下「ホロニック」）の3社で新たに合併会社「株式会社JR西日本ホロニック」を設立したことを併せてお知らせいたします。

なお、今回の開発を加えて、すでに公表済みの計画施設も含めると当社グループのホテルは2019年度内に10,000室を超えることとなります。

当社グループでは「中期経営計画2017」において、非運輸業の事業創造分野の拡大を目指しており、ホテル事業についても、当社用地や市中において積極展開を進めてまいります。

1. 梅小路社宅跡地の開発概要

所在地	京都市下京区観喜寺町15他
用途	ホテル（主に観光や個人のレジャー利用）
面積	敷地面積 約5,000㎡、延床面積 約8,700㎡
建物概要	鉄骨造5階建て、高さ約20m
施設構成	客室約140室、飲食施設、物販施設、温浴施設、多目的室ほか
開業時期	2019年秋ごろ
事業スキーム	土地所有者：西日本旅客鉄道㈱、開発主体：JR西日本不動産開発(株) 事業主体：(株)JR西日本ホロニック

2. 合併会社の概要

会社名	株式会社JR西日本ホロニック
代表者	代表取締役社長 長田 一郎（おさだ いちろう 現(株)ホロニック代表取締役社長）
資本金	3.5億円
出資比率	JR西日本（30%）、JRWホテル開発（35%）、ホロニック（35%）
設立年月	2017年9月29日
所在地	神戸市東灘区向洋町中6丁目9番地 神戸ファッションマート10階
事業内容	ホテル運営およびレストラン営業等

【このリリースに関するお問合せ先】

西日本旅客鉄道株式会社 広報部（報道） TEL：06-6375-8889

【株式会社ホロニックの事業内容に関するお問合せ】

株式会社ホロニック 代表 TEL：078-858-6908

事業企画室 広報担当：船木 TEL：080-4071-6661

〈別紙〉

1. 新たなホテルブランドの位置づけ（なぜ新業態に挑戦するのか）

- ・JR 西日本グループでは、このたび、お客様の多様なニーズ、特に今後増加の見込まれる観光や個人のレジャー利用に対応する業態の開発を目指すこととしました。
- ・具体的には、女性主導のグループや家族でのご利用など、シティホテルの重厚感よりもカジュアルな居心地の良さを求める層をターゲットにした業態に挑戦します。
- ・JR 西日本グループが展開するホテルは、シティホテルの「グランヴィア」、ハイクラス宿泊主体型ホテルである「ヴィスキオ」、宿泊特化型ホテルの「ヴィアイン」、快適性の高いカプセルホテルの「ファーストキャビンステーション」に、今回の新ブランドを加え、大別して5つのブランドとなります。今後、この5ブランドで展開を拡大してまいります。

2. 新たなホテルブランドの特徴・戦略

- ・国内外からの観光や個人のレジャー利用を想定し、2名以上にも対応する広めの客室や充実した共用施設を備えるほか、現代的でカジュアルな空間・サービスを提供し付加価値を高めます。
加えて、宿泊主体型とすることにより経営効率を高め、広めの客室や魅力ある共用施設で収益の増大を目指します。
- ・地域の良さの再発見と発信を担う協力企業と連携し、地域と共存するホテルを目指します。
- ・今後、西日本エリアの観光地などに展開を拡大してまいります。

3. 合弁会社設立の趣旨

- ・自社エリアの一層の観光誘発や地域活性化を進めていきたい JR 西日本グループとして、今まで手掛けてこなかったカジュアルで居心地の良いホテルを展開しているホロニックが適切なパートナーと考え、合弁会社を設立することになりました。
- ・駅および駅周辺で展開する JR 西日本グループのホテル運営と、ホロニックの持つカジュアルな雰囲気や地域共生のノウハウを融合し、今までにないコンセプト重視のホテルづくりを目指します。

4. 梅小路社宅跡地で開発するホテルの特徴

- ・世界的な観光地である京都市において手狭な宿泊施設も多いことに着目し、思い出に残る空間でゆったりと過ごしたい観光や個人のレジャー利用のニーズを満たすホテルを目指します。
- ・鉄道博物館や京都水族館、新駅の開業など今後大きな賑わいが見込まれる当エリアにおいて、梅小路公園の借景も活かしつつ、京都の新しい賑わいを創出するまちづくりに資するシンボルとなる施設を目指します。
- ・宿泊のお客様向けに、京都ならではの特別な体験のほか、交流の場として宿泊者のみならず地域のお客様からも親しまれる居心地のよい施設を目指します。

■計画地



■鳥瞰マップ



■敷地遠景スケッチ



※画像はイメージです。

※ブランド名称および梅小路における新ホテルの具体的な施設構成やサービス内容については、決定次第、改めてお知らせいたします。